

シンポジウム：保健・医療・福祉を担う人材育成について—いま求められる人材像—③

いま地域リハビリテーション活動で求めている人材とは

財団法人黎明郷 理事長 福田道隆、職員一同

【はじめに】：地域リハビリで求めている人材像を黎明郷勤務職員全員で考えることにした。

【目的】：地域リハビリ活動で求めている人材像を明らかにする

【研究方法】：以下の5つの項目について、財団に勤務している全職種へのアンケート調査

【結果】：

- ① 医療従事者の基本的なマナー
優先順位第1位として記載された項目は「自分の行動に責任を持つ、創造する力をもつ、相手の心の痛みを理解する、笑顔を作る」などの順であった。
- ② 専門性の必要条件
優先順位第1位として記載された項目は「自己研鑽をする機会を多く持つ、問題解決型の努力をする、コンプライアンス（法遵守）をしっかりとる、同僚と問題事項について十分な検討をする」などの順であった。
- ③ チームワークの必要条件
院内チームワーク
優先順位第1位として記載された項目は「コミュニケーション能力、総括的に事象を捉える力、情報収集・処理能力、他職種の自由な見方を取り入れた問題解決能力」などの順であった。
院外チームワーク（地域連携）
優先順位第1位として記載された項目は「コミュニケーション能力、情報収集・処理能力、総括的に事象を捉える力」の順であった。
- ④ リーダーとしての役割と活動
「仕事の方向性を示せる、ビジョンを浸透させる、現場の観察と分析できる、他メンバーと密接なコミュニケーションをとれる、安全・快適な環境作りを目指す、情報の収集と他職種へ提供する、患者の

人権を守る、自己革新能力、速やかにリスク発生のマネジメントをする」などの項目は「できる、わからない」が多かった。

- ⑤ バランススコアカードによる総合的質管理への関心度と実践度

バランススコアカードにより「患者対応、医療やリハビリのプロセス、人材育成、経営マネジメント」の4つの領域への関心度および実践度は70%以上、10%以下が多かった。

【考察】：

当財団では理念、ビジョン、現状分析に基づき常に改善、改革の戦略、戦術を持って医療、リハビリ、ケアを含めた地域リハビリの質向上を目指している。総合的医療・リハビリ・ケアの質を向上させるためには①から④までの基本的な項目以外に、⑤への係わりを深く持つ必要がある。現在財団に勤務するスタッフの現状分析から、広義の地域リハビリを充実させるための人材像を明らかにした。また自由記載された意見についても述べる。なおこの結果は今後の財団の管理運営を進める上でも有益な参考資料となった。